

● 必要なお金はどこから？

正解だと思う の中に○を書いてください。

1 みんなが寄付をする。



本当にみんなが寄付をするのかなあ



2 必要なだけお金を発行する。



そんなにたくさん発行してもいいのかなあ



3 みんなが納めた税金が使われる。



メモ

● 税金は昔からあったの？

★()の中に言葉を入れてみよう

飛鳥時代

そ よう ちょう
租・庸・調

大化の改新(645年)ののち、租・庸・調の3つの税が定められ、いねや布などを納める税の制度ができました。



安土桃山時代

たい こう けん ち
太閤検地

太閤・豊臣秀吉は全国の()の広さを測り、収穫や作物のとれ高に応じて年貢を定めることにしました。江戸時代になってからも、この年貢が税収のほとんどをしめていました。

明治時代

ち そ かい せい
地租改正

明治6年(1873年)、全国の土地を測量して土地の値段を決め、その3パーセントを税金として、土地の持ち主に()で納めることになりました。



昭和時代

こく じん
国民の
さん だい ぎ む
三大義務

戦後の昭和21年(1946年)に新しい憲法ができ、①こどもに教育を受けさせる義務②勤労することの義務③国民みんなが()を納める義務、の三大義務が定められました。

平成時代

しょう ひ せい
消費税

平成元年(1989年)に、品物やサービスの売上にかかる消費税がつけられました。



税金は、いつごろから納めるようになったのかなあ？



メモ